

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第1回 第5分科会（経営、企画分野）
日時	平成24年10月19日（金） 午前10時～午前11時30分
場所	江南市市民体育会館 2階 大会議室
出席者	市民委員 太田 靖子、早瀬 裕子、福田 直樹、靱山 光正、飯島 和代、奥村 忠、佐藤 晃、脇坂 康彦
	市職員 大竹 誠、武田 篤司、栗本 浩一、小岩 賢三、片野 富男、脇田 和美、岩田 高志、大倉 由美子
議題	1. 江南市戦略計画について 2. まちづくり会議について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 会長及び副会長の選出 5. 施策評価の結果について 6. 第2回の会議日程について
資料	資料1 まちづくり会議について 資料2 平成23年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市戦略計画について

- ・経営企画部長より、江南市戦略計画について、これまでの策定経緯やその概要の説明がありました。

2. まちづくり会議について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、まちづくり会議の目的、組織、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

3. 委員の自己紹介

- ・各委員から自己紹介がありました。

4. 会長及び副会長の選出

- ・会長に奥村忠氏、副会長に飯島和代氏が選出されました。

5. 施策評価の結果について

【柱1】地域協働の推進

- ・資料2に基づき、委員（地域協働課長）より説明がありました。

【施策①】地域協働の促進

- ・指標「公募型協働支援補助事業採択団体数」に関して、補助申請の件数について質問があり、担当課から9件の申請があったとの回答がありました。
- ・指標「ボランティア団体及びNPOの数」及び、指標「公募型協働支援補助事業採択団体数」に関連して、団体数は増加しているにもかかわらず、補助事業の採択団体が伸び悩んでいるが、これは理念を形にできる力を持った団体が育っていないと言えるのではないかと、という指摘がありました。
- ・平成23年度から「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」が施行されたが、市民のまちづくりへの関心はあまり高まっていないように感じられるので、もっと普及啓発に工夫が必要ではないかという意見がありました。担当課からは、「まちづくり基本条例」については、これまで市広報に連載コーナーを設

けるなどのPRを行ってきたが、現在「まちづくり基本条例」に続くものとして、具体的な市民参加の手続きを定める「市民参加条例」の制定も進めているところであり、これを機にさらなる啓発に努めていきたいとの回答がありました。

【施策②】 地域情報の共有化

- ・市広報の紙面が、以前に比べて見やすく、分かりやすいものになってきており、とてもありがたいという意見がありました。
- ・情報発信の手段として、フェイスブックを利用してはどうかという意見がありました。担当課からは、フェイスブックは全国に向けたシティセールスに適したツールと考えており、今後、マスコットキャラクター“藤花ちゃん”のPRを通して、市の知名度アップのための活用を検討していきたい、という回答がありました。
- ・同じく市の情報発信について、ツイッターは活用できないか、という意見がありました。担当課からは、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）は情報発信に有効であるという認識は持っている。ツイッター以外にも様々なSNSがあるので、それぞれの性質を考慮したうえで、どれを利用するか今後検討していきたい、という回答がありました。

6. 第2回の会議日程について

- ・第2回の会議日程について、次のとおり決定しました。
11月5日（月）午後6時00分～